

## 期 間 入 札 の 公 告

令和 8年 3月 4日

水戸地方裁判所民事部

裁判所書記官 片 見 光 雄

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 8年 4月 3日 午前 <del>8時30分</del> <sup>9時00分</sup> から 令和 8年 4月10日 午後 5時00分まで
開札期日	日 時 令和 8年 4月17日 午前10時00分 場 所 水戸地方裁判所売却場
売却決定 期日	日 時 令和 8年 5月15日 午前10時00分 場 所 水戸地方裁判所民事部
特別売却 実施期間	令和 8年 4月20日 午前 9時00分から 令和 8年 4月21日 午後 <del>4時30分</del> <sup>4時5分</sup> まで
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行, 損害保険会社, 農林中央金庫, 株式会社商工組合中央金庫, 全国を地区とする信用金庫連合会, 信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限(民事執行規 則33条)	☆印を付した物件は農地であるので, 権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り, 買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため, 物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 8年 3月 4日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	





物 件 目 録

- 1 所 在 久慈郡大子町大字下金沢字田ノ入沢  
地 番 1784番  
地 目 宅地  
地 積 690.90平方メートル



## 物件明細書

令和 8年 1月 8日

水戸地方裁判所民事部

裁判所書記官 片見光雄

---

---

1 不動産の表示

【物件番号1】

別紙物件目録記載のとおり

---

---

2 売却により成立する法定地上権の概要

【物件番号1】

本件土地の一部につき、売却対象外の未登記建物（①種類：倉庫、構造：木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建、床面積：約6平方メートル、②種類：便所、構造：コンクリートブロック造スレート葺平家建、床面積：約2平方メートル）のための法定地上権の成否は不明であるが、これが成立するものとして売却基準価額が定められている。

---

---

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1】

なし

---

---

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号1】

本件所有者が占有している。

---

---

5 その他買受けの参考となる事項

【物件番号1】

(1) 本件土地上に現存しない建物（①家屋番号1784番の1、②家屋番号1784番の2）の登記が存在する。

(2) 売却対象外の土地を通行のため利用している。

《 注 意 書 》

1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実とそれに基づく法律判断に関して、執行裁判所の裁判所書記官の一応の認識を記載したものであり、関係者間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。

2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。



- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では別ファイルとして備え付けられています。



## 物 件 目 録

- |   |   |   |                  |
|---|---|---|------------------|
| 1 | 所 | 在 | 久慈郡大子町大字下金沢字田ノ入沢 |
|   | 地 | 番 | 1784番            |
|   | 地 | 目 | 宅地               |
|   | 地 | 積 | 690.90平方メートル     |



令和 7 年（ヌ）第 38 号  
令和 7 年 7 月 9 日受理  
令和 7 年 9 月 25 日提出  
（評価人 立川伸光）

## 現況調査報告書

水戸地方裁判所

執行官 粉 川 宗 尚

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

- |   |     |                  |
|---|-----|------------------|
| 1 | 所 在 | 久慈郡大子町大字下金沢字田ノ入沢 |
|   | 地 番 | 1784番            |
|   | 地 目 | 宅地               |
|   | 地 積 | 690.90平方メートル     |

不動産の表示	「物件目録」のとおり
住居表示	<input checked="" type="checkbox"/> (住居表示未実施) <input type="checkbox"/>
土地	物件1
現況地目	<input checked="" type="checkbox"/> 宅地(物件) <input type="checkbox"/> 公衆用道路(物件) <input type="checkbox"/> 農地(物件) <input type="checkbox"/> 雑種地(物件) <input type="checkbox"/> 山林(物件) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
形状	<input type="checkbox"/> 公図のとおり <input type="checkbox"/> 地積測量図のとおり <input type="checkbox"/> 建物図面(各階平面図)のとおり <input checked="" type="checkbox"/> 土地建物位置関係図のとおり <input type="checkbox"/> 土地現況図のとおり
占有者及び占有状況	<input checked="" type="checkbox"/> 土地所有者 <input type="checkbox"/> その他の者 <input checked="" type="checkbox"/> 上記の者が本土地上に下記目的外建物を所有し、占有している。 <input type="checkbox"/> 上記の者が駐車場として使用し、占有している。 <input type="checkbox"/> 上記の者が現況地目欄記載の状況で占有している。 <input type="checkbox"/> 上記の者が「占有者及び占有権原」「占有状況」欄記載の状況で占有している。 <input type="checkbox"/> 物件の土地については、公衆用道路として使用されている。 <input type="checkbox"/> 「占有者及び占有権原」のとおり <input type="checkbox"/>
その他の事項	1. 本件土地の公図は、精度に難のある旧土地台帳附属地図であるが、こうした公図であっても、各土地のおおよその形状及びその相互の配列状況については重要な手掛かりとなり、また、境界が直線か否かという地形的、定性的な問題については比較的信用性が高いと一般には評価されている。 そこで、こうした評価を前提に、本件土地と公図の形状比較をしたところ、顕著な相違は認められなかった。 また、簡易なCADによって公図面積を測定し、公簿のそれと比較してみたところ、その差は約4%と僅少であり、本件土地の間口辺長など現地概測の結果も公図のそれと概ね一致していたことからすると、本件土地に係る公図は、面積や辺長といった定量的正確性も相当程度具備しているものと推測される。 以上のような事実を前提に、本件土地の特定及びその地積に関する重大な不利益は存在しないものと判断した。 なお、隣地(1785番)状に存在する建物の一部が本件土地に越境している可能性がある点に留意を要する。 2. 登記記録によると、本件土地上に次の建物2棟が存在しているが、現地調査の結果、それらを発見することはできず、前記建物は既

(注) チェック項目中の調査結果は、「」の箇所の記載のとおり  
(2枚目)

	<p>に滅失しているものと推定される。</p> <p>(1) 家屋番号 1784 番の1  種類 居宅  構造 木造草葺平家建  床面積 99.17 m<sup>2</sup>  所有者 B</p> <p>(2) 家屋番号 1784 番の2  種類 居宅  構造 木造草葺平家建  床面積 92.56 m<sup>2</sup>  所有者 C</p>
<p>執行官保管の  仮 処 分</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>ない  <input type="checkbox"/>ある</p> <p>地方裁判所 支部 令和 年 ( ) 第 号  保管開始日 令和 年 月 日</p>
<p>建 物  ( 目的外建物 )</p>	<p><input type="checkbox"/>ない  <input checked="" type="checkbox"/>ある (詳細は「目的外建物の概況」のとおり)</p>
<p>土地建物の位置関係</p>	<p><input type="checkbox"/>建物図面 (各階平面図) のとおり <input checked="" type="checkbox"/>土地建物位置関係図のとおり</p>

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり  
( 3 枚目 )

目的外建物の概況 (物件 1 関係)		
1	所 在	久慈郡大子町大字下金沢字田ノ入沢 1784 番
	家 屋 番 号	<input checked="" type="checkbox"/> ない (未登記) <input type="checkbox"/>
	種 類	<input type="checkbox"/> 居宅 <input type="checkbox"/> 店舗 <input type="checkbox"/> 共同住宅 <input type="checkbox"/> 工場 <input type="checkbox"/> 倉庫 <input checked="" type="checkbox"/> 倉庫
	構 造	木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
	床面積 (概略)	約 6 m <sup>2</sup>
	所 有 者	<input checked="" type="checkbox"/> 土地所有者 <input type="checkbox"/> その他の者 ( ) <input type="checkbox"/> 不明
	建 築 時 期	<input type="checkbox"/> 令和 年 月 日頃 <input checked="" type="checkbox"/> 不明
	建 築 者	<input type="checkbox"/> 現所有者 <input type="checkbox"/> その他の者 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 不明
その他の事項	土地建物位置関係図「目的外建物①」の建物	
2	所 在	久慈郡大子町大字下金沢字田ノ入沢 1784 番
	家 屋 番 号	<input checked="" type="checkbox"/> ない (未登記) <input type="checkbox"/>
	種 類	<input type="checkbox"/> 居宅 <input type="checkbox"/> 店舗 <input type="checkbox"/> 共同住宅 <input type="checkbox"/> 工場 <input type="checkbox"/> 倉庫 <input checked="" type="checkbox"/> 便所
	構 造	コンクリートブロック造スレート葺平家建
	床面積 (概略)	約 2 m <sup>2</sup>
	所 有 者	<input checked="" type="checkbox"/> 土地所有者 <input type="checkbox"/> その他の者 ( ) <input type="checkbox"/> 不明
	建 築 時 期	<input type="checkbox"/> 令和 年 月 日頃 <input checked="" type="checkbox"/> 不明
	建 築 者	<input type="checkbox"/> 現所有者 <input type="checkbox"/> その他の者 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 不明
その他の事項	土地建物位置関係図「目的外建物②」の建物	

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり  
( 4 枚目 )

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
A (本件所有者)	<p>1 本物件に(は),</p> <p>(1) 所有者が使用(占有)しています。</p> <p>(2) 境界争い等隣地との紛争はありません。</p> <p>しかし, 本件土地はいわゆる袋地で, 公道に接道していませんから, 周辺隣地権者の設置した通路を無償で通行させてもらっています。</p> <p>なお, 通路が通行できるのは代々の友誼に基づくものですから, 新たに本件土地を所有する人物が当然に通行できるとは限りません。</p> <p>また, 本件土地には井戸がありますが, 50年も前から使っていないため, おそらく干上がっていると思います。</p> <p>加えて, 水道が通っていませんから, 水の確保は極めて困難です。</p> <p>(3) 2棟の目的外建物(物置, 便所)が存在しますが, これらはいずれも私が先代から相続したものです。</p> <p>(4) 登記記録上, BとCが所有する木造草葺の建物が2棟あることになっているようですが, それらの建物は既に取り壊したと思います。</p> <p>(5) 産廃の投棄・埋設や不自然死などの事件事故はありません。</p> <p>(6) 自然災害等による被害はありません。</p> <p style="text-align: right;">【現地聴取要旨】</p>

(注) チェック項目中の調査結果は, 「■」の箇所の記載のとおり  
(5枚目)

執行官の意見

- 1 本物件の状況は、土地建物位置関係図及び添付した写真のとおりである。
- 2 本件土地占有状況については、所有者の陳述及び上記現場の状況等を考慮して、二、三枚目記載のとおり認定した。

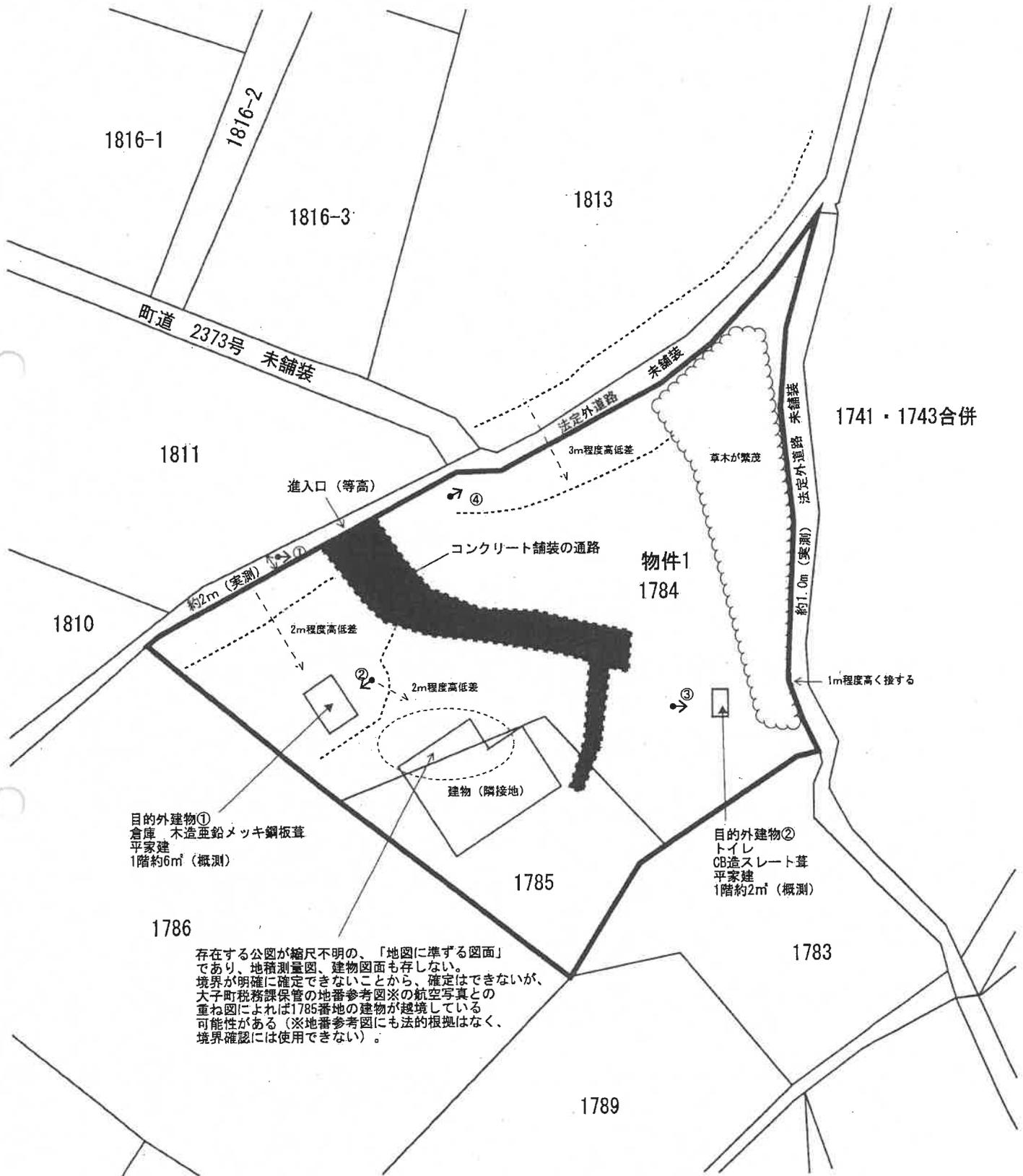
(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり  
(6枚目)

調査の経過		
調査の日時	調査の場所等	調査の方法等
令和7年7月10日(木)	当 庁	役場(所)照会(照会書郵送)
令和7年7月28日(月)	当 庁	所有者照会(照会書郵送)
令和7年8月25日(月) 12:45-13:30	物件所在地	立入調査 占有調査 図面作成・写真撮影 <input type="checkbox"/> 債務者・ <input checked="" type="checkbox"/> 所有者・ <input type="checkbox"/> か ら聴取 評価人同行
年 月 日( ) : - :		
年 月 日( ) : - :		
年 月 日( ) : - :		
年 月 日( ) : - :		
(特記事項)		
<input type="checkbox"/> 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていることも予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。		
<input type="checkbox"/> 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていたので、立会人 を立ち合わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。		
<input type="checkbox"/> 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり  
(7枚目)

# 土地建物位置関係図

令和7年(又)第38号



存在する公図が縮尺不明の、「地図に準ずる図面」であり、地積測量図、建物図面も存しない。境界が明確に確定できないことから、確定はできないが、大子町税務課保管の地番参考図※の航空写真との重ね図によれば1785番地の建物が越境している可能性がある(※地番参考図にも法的根拠はなく、境界確認には使用できない)。

※この図面は現地概測等により作成したものであり、実測図ではありません。また、目的外建物の構造、規模等については、現地による目視、概測に基づいており、実際の構造、規模等と異なる可能性があります。

《凡例》  
 撮影方向: ←  
 写真番号: ①

写真1



写真2



写真3



写真4



令和 7年 (又) 第 38号  
令和 7年 7月 9日 受 命  
令和 7年 8月25日 現地調査  
令和 7年 9月20日 評 価  
令和 7年10月 3日 提 出

水戸地方裁判所民事部 御中

# 評 価 書

評価人 不動産鑑定士  
立川 伸光

## 第1 評価額

番号	評 価 額
物件1 (土地)	金 520,000円

## 第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。  
したがって求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、事前に物件に立ち入ることができないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は 民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

### 第3 目的物件

現況欄に記載のない事項については、ほぼ登記記載と同じ

番号	所在等	登記	現況
1	所在地 地積	次頁物件目録記載のとおり	
特記事項			
<p>物件1 土地には土地所有者所有の目的外建物①～②（未登記）が存し、当該建物の敷地として利用されている。</p> <p>評価の便宜上、目的外建物の敷地以外の土地を「物件1-イ」、目的外建物①に対応する敷地を「物件1-ロ」、目的外建物②に対応する敷地を「物件1-ハ」とした。</p> <p>目的外建物①～②は、1784番に存していた（現在滅失）建物及び1785番上の建物に付属する建物として利用されていた可能性が高く、床面積も僅少であることから、物件1 全部を敷地範囲とはしなかった。各々の敷地範囲は、利用状況、接道条件及び隣接地である1785番との関係を考慮して、保守的にやや広めに査定した。</p> <p>※目的外建物の床面積については「土地建物位置関係図」参照。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的外建物の存しない土地 物件1 土地のうち 約560.90㎡ 「物件1-イ」</li> <li>・ 目的外建物①の利用範囲 物件1 土地のうち 約80㎡ 「物件1-ロ」</li> <li>・ 目的外建物②の利用範囲 物件1 土地のうち 約50㎡ 「物件1-ハ」</li> </ul>			

## 物 件 目 録

- |   |   |   |                  |
|---|---|---|------------------|
| 1 | 所 | 在 | 久慈郡大子町大字下金沢字田ノ入沢 |
|   | 地 | 番 | 1784番            |
|   | 地 | 目 | 宅地               |
|   | 地 | 積 | 690.90平方メートル     |

#### 第4 目的物件の位置・環境等

##### 1 対象土地の概況及び利用状況等（物件1）

位置・交通	JR水郡線「常陸大子」駅西方道路距離約6.8km 最寄バス停「下金沢」停留所南東方道路距離約450m (徒歩約6分)	
付近の状況	国道461号背後、農地、山林等が広がる中、農家住宅が散在する地域である。	
主な公法上の規制等 (道路の幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制)	都市計画区分	都市計画区域外（都市計画法の適用外区域）
画地条件	物件1-イ, 1-ロ, 1-ハ 地積 : 約690.90㎡ 間口 : 約50.0m 奥行 : 約26.0m 形状 : 不整形 地勢 : 傾斜地 高低差: 高低差: 北西側道路に約0~2m程度低く、北東側街路に約1m程度高く接する。 接面道路との関係: 角地	
接面道路の状況	物件1-イ, 1-ロ, 1-ハ 北西約2.0m未舗装道路 東約1.0m未舗装道路	
土地の利用状況等	土地所有者が目的外建物①及び②（未登記）を有し、当該建物の敷地として利用されている。  ※建物の配置、目的外建物の床面積等については「土地建物位置関係図」参照。なお、目的外建物①及び②の数量は現地での概測に基づく数量。 ※※目的外建物①及び②につき、敷地範囲に法定地上権の成立を考慮して評価する。	
供給処理施設	上水道: なし 都市ガス: なし 下水道: なし (注) 供給処理施設における「あり」とは、対象物件の前面道路に該当施設の本管（以下、施設管という）がおっており、通常の費用で敷地内への引き込みができる状態にあることをいう。「なし」とは、対象物件を含めた周辺に施設管が配置されておらず、敷地内に引き込むことが不可能な場合をいう。「不明」とは前面道路に施設管は施設されていないにもかかわらず供給処理施設を利用している場合や、役場での確認事項に疑義がある場合等で、将来的に当該施設が利用できるかどうか不明な場合をいう。	
土壌汚染の可能性の調査	土地の履歴等からは土壌汚染対策法に定められた特定有害物質の影響リスクが生じている可能性は低いものと推定するが、詳細については専門調査機関による詳細調査を行わないと確定出来ない。	

特 記 事 項

①物件1の公図は縮尺不明であるが、600分の1であるとした場合の公図の形状は現地概測と概ね一致している。また、大子町税務課保管の地番参考図及び航空写真重ね図と、現地の状況も概ね一致していることを確認した。また、地番参考図の図上における概測結果では、公簿数量よりも大きくなった。地番参考図に法的根拠はなく、境界の確定に使用はできないので、この数量については参考に留めざるを得ないが、これらを考慮すると公簿数量は概ね確保できるものと思料し、公簿数量を評価数量として採用した。

②敷地の大部分が土砂災害警戒区域に指定されている。

自然現象の種類：土石流

溪流番号：364-II-035

溪流名：後小平沢

告示番号：茨城県告示第50号

告示年月日：平成23年1月13日

③隣地（1785番）に位置する建物の一部が本件土地の一部に越境している可能性がある（土地建物位置関係図参照）。

④登記記録によると、本件土地に次の建物2棟が存するが、現地調査の結果では、それらの建物を発見することができなかった。よって、これらの建物は滅失しているものと推定される。また、これらの建物の基礎等が地中に存するかどうかは不明である。

・家屋番号 1784番の1  
種 類 居宅  
構 造 木造草葺平家建  
床 面 積 99.17㎡  
所 有 者 B

・家屋番号 1784番の2  
種 類 居宅  
構 造 木造草葺平家建  
床 面 積 92.56㎡  
所 有 者 C

## 第5 評価額算出の過程

### 1 基礎となる価格

#### ① 物件1-イ, 1-ロ, 1-ハ (土地)

番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別 格差 イ	地積 (㎡) ウ	建付減価 エ	共有持分 割合 オ	更地・建付地価格 (円) ア×イ×ウ×エ×オ
1-イ	2,650	0.540	560.90			800,000
1-ロ	2,650	0.540	80.00	1.00		110,000
1-ハ	2,650	0.540	50.00	1.00		70,000

ア 標準画地価格 (公示価格等からの規準)

地価調査 常陸大宮 (県) -6

基準価格                      時点修正                      標準化補正                      地域格差                      標準画地価格  
 $3,160\text{円}/\text{m}^2 \times 99.9/100 \times 100/101 \times 100/118 = 2,650\text{円}/\text{m}^2$

◇時点修正：年率-0.60%を補正

◇標準化補正：二方路+1

◇地域格差：交通・接近条件(最寄り駅への接近性▲3)環境条件(居住環境+10)街路条件(道路の系統・連続性+2 道路の幅員+6)環境条件(供給処理施設の状態+2)

イ 個別格差：画地条件(形状▲10 敷地内高低差▲20 規模▲5 角地+1 土砂災害警戒区域▲5)環境条件(供給処理施設の状態▲2)街路条件(道路の幅員▲6 道路の系統・連続性▲10)

ウ 地積：登記記載の地積。

エ 建付減価：物件1-ロ 1.00 物件1-ハ 1.00

オ 市場性修正率：物件1-イ 1.00 物件1-ロ 1.00 物件1-ハ 1.00

## 2 評価額の判定

前記により求めた価格に、競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

### ① 敷地利用権等価格

番号	建付地価格 (円) ア	敷地利用権等割合 イ	敷地利用権等価格 (円) ア×イ
1-ロ	110,000	0.35 法定地上権	40,000
1-ハ	70,000	0.35 法定地上権	20,000

### ② 内訳価格及び一括価格

番号	基礎となる価格 (円) ア	敷地利用権価格 の控除及び加算 (円) イ	占有 減価 修正 ウ	市場 性修 正率 エ	競売 市場 修正率 オ	評価額 (円) (ア±イ)×ウ×エ×オ
1-イ	800,000		—	0.80	0.70	450,000
1-ロ	110,000	-40,000	—	0.80	0.70	40,000
1-ハ	70,000	-20,000	—	0.80	0.70	30,000
一括価格 (合計)						520,000

ウ 市場性修正率：物件1-イ 0.80 物件1-ロ 0.80 物件1-ハ 0.80

隣地の建物が越境するリスク、明確に境界を確定できる図面が存せず、将来的に境界を確定した際に地積が変動するリスク、土地について基礎等の埋設物が存するリスク及び高齢化が進む農家集落地域に位置し、道路条件も劣り、車両の乗り入れが困難であること等を考慮すると市場性に劣る。

エ 競売市場性修正率：物件1-イ 0.70 物件1-ロ 0.70 物件1-ハ 0.70

オ 占有減価率：必要なし

## 第6 参考価格資料

- 1 地価調査価格 常陸大宮（県）-6  
所在地 在：常陸大宮市上檜沢字田尻396番1  
地目：宅地  
価格：3,160円/m<sup>2</sup>（対前年変動率 -0.60%）  
位置：JR水郡線玉川村駅の北西方・道路距離約12,000mに位置する。  
価格時点：令和7年7月1日  
地積：374m<sup>2</sup>  
供給処理施設：水道、下水道  
接面街路：西11m県道、東背面道  
用途指定等：都市計画区域外（都市計画法の適用外区域）  
地域の概要：一般住宅、農家住宅等の散在する住宅地域

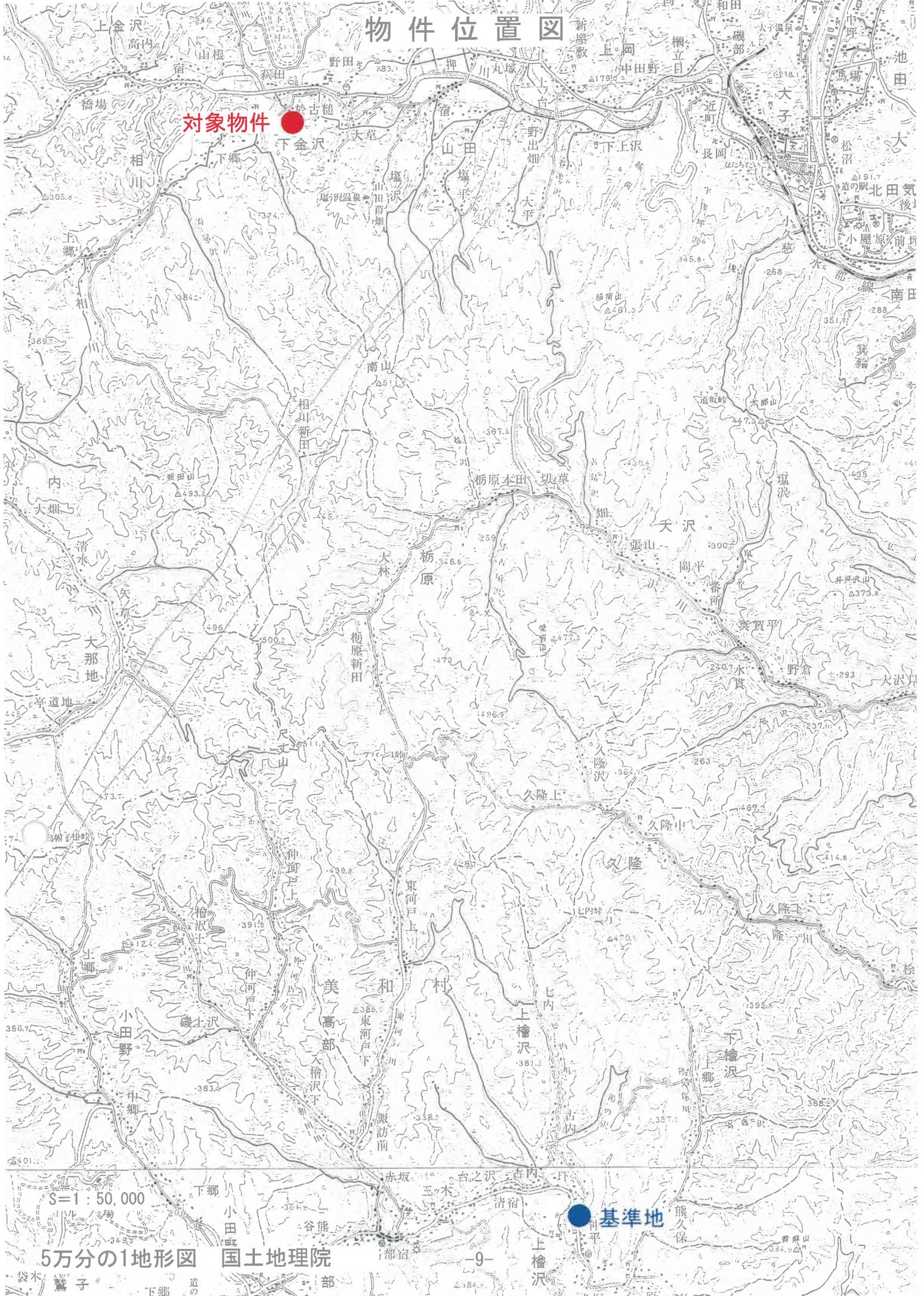
## 第7 附属資料

- 1 物件位置図
- 2 周辺見取図
- 3 公図写
- 4 土地建物位置関係図

以上

# 物件位置図

対象物件



S=1:50,000

5万分の1地形図

国土地理院

基準地

# 周辺見取図



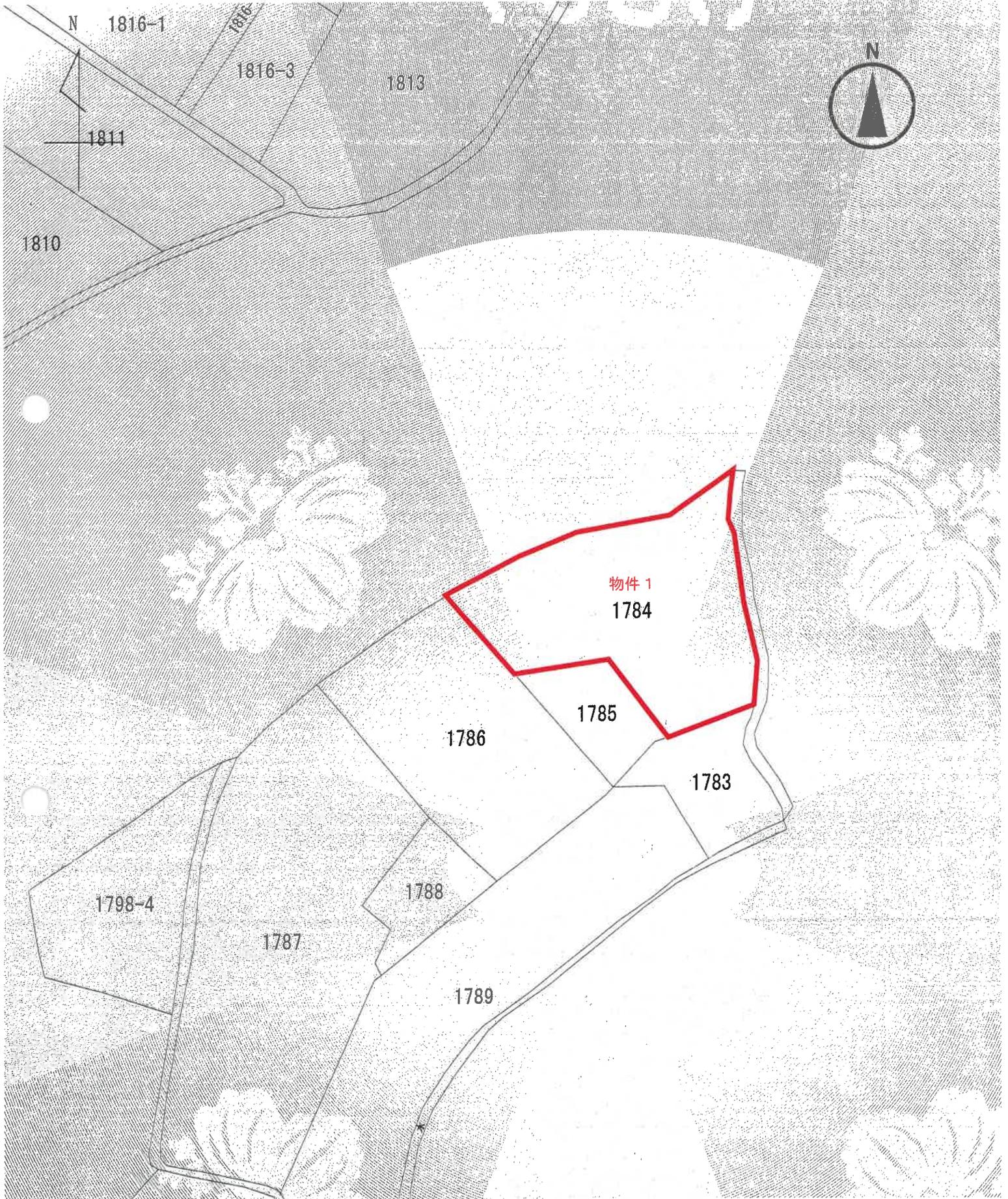
対象物件

60m  
Copyright(C)2025 ZENRIN CO., LTD.

1:1500

【ZENRIN GISパッケージ 不動産鑑定士】  
【許諾番号：Z25BH第091号】

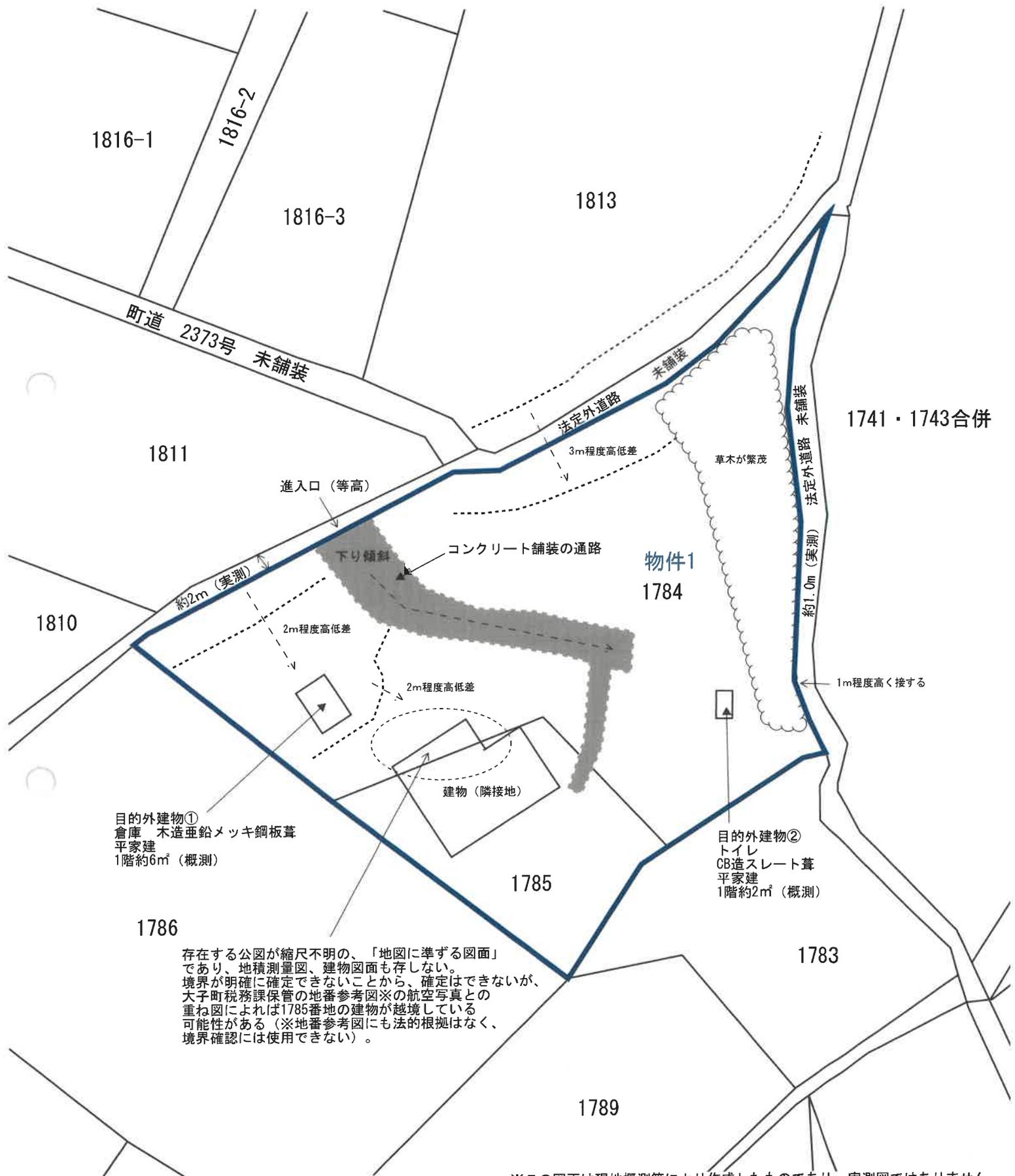
公 図 写



S = 縮尺不明

# 土地建物位置関係図

令和7年(又)第38号



存在する公図が縮尺不明の、「地図に準ずる図面」であり、地積測量図、建物図面も存しない。境界が明確に確定できないことから、確定はできないが、大子町税務課保管の地番参考図※の航空写真との重ね図によれば1785番地の建物が越境している可能性がある(※地番参考図にも法的根拠はなく、境界確認には使用できない)。

※この図面は現地概測等により作成したものであり、実測図ではありません。また、目的外建物の構造、規模等については、現地による目視、概測に基づいており、実際の構造、規模等と異なる可能性があります。